

### 3 高齢者の交通事故を防ぐために気を付けてほしいこと

■高齢者が道路を歩くときに注意してほしいことは？

#### 交通ルールを厳守しましょう！

「信号無視はしない」「少し遠回りでも、信号機や横断歩道のある所に行って渡る」など交通ルールを守って行動しましょう。

#### 自分の変化を認識し、ゆとりを持って行動しましょう！

加齢に伴って、若い頃と比べて運動能力や身体機能が低下します。こうした変化を自覚して、無理をせず安全な歩行を心掛けましょう。

#### 道路の横断や交差点では十分に安全確認をしましょう！

「青信号だから安全」と油断せず、周りの状況に目を配り、道路の横断前・横断中は何度も左右の確認をしましょう。

#### 夜間の外出は特に気を付けましょう！

夜間の外出では、自分の存在を積極的にドライバーに知らせるように「車のライトを反射する反射材を身に付ける」「白や黄色といった明るい色の服装」を心掛けましょう。

特に反射材は有効です。反射材はホームセンターなどで購入できます。



■高齢ドライバーが運転するときに注意してほしいことは？

#### 日頃から安全運転を心掛けましょう！

身体機能の低下によって、ハンドルやブレーキ操作が遅れて事故を起こす可能性も意識した上で、早めのライト点灯や安全な速度での運転を心掛けましょう。

#### 高齢運転者マークを表示しましょう！



70歳以上のドライバーが運転する車に表示できます。周囲の自動車運転者は、マークを付けた自動車に配慮することが義務付けられています。



福島市交通安全母の会連絡協議会

会長 丹治 吉さん

交通安全母の会は、「交通安全は家庭から」の基本理念のもと、母親の力を結集し交通事故死ゼロを目指して運動を展開しています。

高齢者が外出しない、車を運転しないで生活することは難しいです。だからこそ「交通ルールを守る」「出掛ける時は反射材」など、自分が事故に遭わないためにはどうすればいいのか考えながら行動することが大事です。交通事故で大切な命を落とすことがないように、これからも私たち母の会はさまざまな活動を通して、交通安全を呼び掛けていきます。

#### ドライバーの皆さんへ

高齢の歩行者やドライバーを見掛けたら、次のことに気を付けて思いやりを持った運転を心掛けましょう。

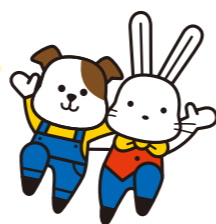
- ・「歩行速度が遅い」「走行車両の速度や距離を見誤りやすい」といった高齢者の特徴を理解しましょう。
- ・高齢ドライバーは、素早い状況判断や運転操作が難しい場合があることを理解しましょう。
- ・高齢者の動きに対応できるように減速や一時停止をするなど優しい運転をしましょう。
- ・夜間は見通しが悪くなります。ライトの早めの点灯、こまめな切り替えにより、歩行者に注意して走行しましょう。



#### 家族や周りの方々へ

一人一人の暮らしぶりなどに配慮しつつ、高齢者の変化に気付くことも重要です。

「交通弱者」としてのみ扱わないよう心掛けながら高齢者を見守るようにしましょう。



### 交通安全教室で交通ルールを学ぼう

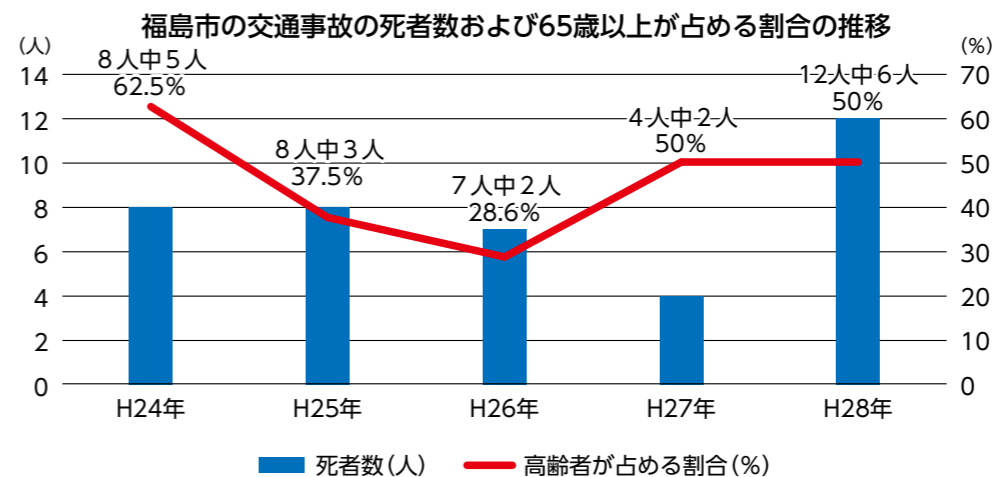
市では、ご希望の地域・団体に交通教育専門員を派遣し、交通安全教室を開催しています。

- 内容／子どもを対象にミニ信号機を使った歩行訓練  
・老人クラブ、町内会などを対象にビデオ上映や講演など

■申し込み／電話で日程・指導内容の希望を調整した上で、お申し込みください。

■問／生活課 ☎525-3787

### 1 交通事故死者数に占める高齢者の割合は半分！



交通安全意識の浸透や自動車の安全性能の向上などによって、交通事故件数や死者数は年々減少傾向にあります。しかし、本市では昨年、過去10年間で最多の交通死亡事故が発生しました。その被害者の半数が、65歳以上の高齢者で、夜間の時間帯での歩行中の事故死が最も多くなっています。

### 2 交通事故につながる恐れのある行動の特徴

#### ■歩行中の事故

個人差はありますが、老化による体力や判断力の低下などの高齢者に特有の特徴が挙げられます。

#### 【特徴①】

##### 行動に時間がかかる

筋力の低下などにより、安全確認してから実際に行動するまでに時間がかかります。また、本人は青信号のうちに渡り切れるつもりでも、実際は歩く速度が遅く、途中で赤信号になり、事故に遭うケースも。

#### 【特徴②】

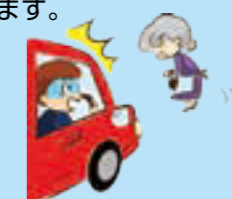
##### 自宅近くでの油断

慣れている場所だけに、安全確認を怠りがちです。最近ではカーナビなどが普及し、幅の狭い生活道路でも抜け道に利用するドライバーも増えているため、油断は禁物です！

#### 【特徴③】

##### 姿勢がうつむきがち

足腰の衰えなどで前かがみの姿勢になりやすく、視野が狭くなって安全確認を怠りがちになります。



#### ■運転中の事故

高齢ドライバーの事故の原因として多いのは、アクセルとブレーキの踏み間違いやハンドル操作の誤りなどの運転操作のミスです。

また、運転歴が長いベテランの高齢ドライバーが事故を起こしてしまうのは「止まれると思ったポイントで停車できない」「一つのものにとらわれ、他の情報を見逃す」「慣れによる油断」などが影響しています。

#### 身体機能が低下しているかも、と思ったことはないですか？

普段の生活の中で「よくつまずく」「よく階段を踏み外す」「暗いと物が見えにくい」などと感じたことはないですか？ 反射神経や脚力、視力が低下しているサインかもしれません。起こりうる危険を考えながら行動しましょう！



# 高齢者の交通事故

特集

みんなまで防ごう！



昨年、本市では過去10年間で最多の交通死亡事故が発生しました。そのうち、65歳以上の高齢者の方が半数を占めています。さらに近年では、高齢者が被害者になるだけでなく加害者になる事故も増えています。高齢者の交通事故対策には、本人だけでなく周囲にいる方の理解も重要です。みんなで高齢者の交通事故を防ぎましょう！

■問／生活課

☎525-3787